



アズマヒキガエルの産卵確認



黒い斑点はすべてオタマジャクシ

4/12 アズマヒキガエルの産卵がサンショウウオ第一託児所で確認されました。ヤマアカガエルのオタマジャクシが泳ぐ中に、たくさんの卵囊が確認できました。

今年の産卵は、例年より若干早いようで、4月末には孵化し、オタマジャクシとなって自分が出てきた卵囊に張り付いていました。(左写真)

体が大きいわりに卵が小さく、オタマジャクシも小さいので個体はわかりにくいのですが、水中に黒い斑点があるのでたくさんいることがわかります。

この中の何匹が大人のカエルになるのでしょうか。カエルになっても生き残れるのはどれくらいなのでしょう。厳しい自然界で頑張る彼らにエールを！！



大人のアズマヒキガエル

バードステーション見学

自然塾の会 春の遠足

自然塾の会恒例の春の遠足が、4/27(土)に行われました。参加者は老若男女8名でした。コースは、以下の通りです。

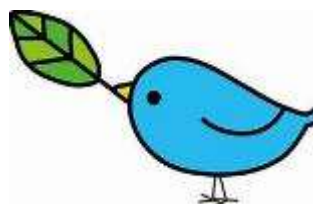
ねいの里に集合 → 猫坂峠 → 高塚 → バードステーション → 富士屋権現山 → ねいの里



ニホンジカに無残にも食い荒らされたアオキやササを見ながら遊歩道をバードステーション(鳥類観測ステーション)まで自然の生き物を観察しました。途中の坂がきつく何度か休憩を取りましたが・・・猫坂もきついですが、バードステーションの上り坂の方が応えましたね。

バードステーションでは、ねいの里の間宮さんにステーションでの活動について説明を受け、鳥類調査の苦勞をちょっとだけ知ることができました。

帰りは、バードステーションから尾根を通る昔のルートを通ってねいの里まで。人がめったに通らないコースなので歩きにくいところもありましたが、全員予定通り無事に帰ってきました。天候に恵まれ、収穫の多い遠足でした。



ホウホウクイズ ;毎年、ボランティアでねいの里の環境整備をしてもらっている企業があるんじゃが、知っておるかな？ ヒントは、新入社員研修の一環なんじゃ。

今年の遠足は、ニッコウキスゲを目的に白木峰に行きました。

麓の大長谷温泉の駐車場に集合し乗合せて8合目まで。そこから登山道で白木峰山頂を経て「浮島の池」へ行き、シュレーゲルアオガエルの卵嚢やアカハライモリを観察しました。



途中のニッコウキスゲは、咲き始めで蕾も多くあり、これからが見頃の様子でした。

当日は、晴天に恵まれ、白山・御嶽山・乗鞍岳・槍ヶ岳などアルプスの山々を拝むことができ、最高の遠足になりました。



外来生物の話④「ブルーギル」

○ブルーギルとは

北アメリカ大陸原産のサンフィッシュ科の魚。

本来日本には生息していない魚でしたが1960年に移入され、その後人の手によって全国に広められた歴史があります。

全長20~25センチ、それ以上のサイズもあります。

体は鯛のように扁平しており、特徴的なのはエラ蓋にある濃紺の模様。これが由来で、ブルー(青)ギル(エラ)と名付けられました。



○ブルーギルの生態



食性は、肉食で小魚や小さな虫、魚の卵等、動物性のものであれば何でも食べます。

繁殖期は6~7月で、オスに婚姻色(左写真)が現れます。産卵は底が砂地の場所にすり鉢状の産卵床を作り、そこにメスが卵を生んだ後、オスが孵化するまで産卵床を守ることが特徴です。産卵床は浅場に作られるため、オスが卵を守っている姿も見受けられます。

繁殖力や環境への適応能力が高く、動物性のエサがある淡水域で流れの緩やかな場所であれば、池・湖・川を問わず生息できます。

○特定外来生物に指定されています

ブルーギルは、生態系への影響が懸念されており特定外来生物に指定されています。そのため、生体の持ち運びなどが厳しく禁じられており、許可なく輸入・販売・放出した場合は、懲役または罰金の罰則が定められています。但し、飼育・無償譲渡は除外されています。



調理例

○その他

一般的にはあまり食べられませんが、きれいな白身で臭みもなく淡白で美味とのこと。身は柔らかく、新鮮なものはムニエルやバター焼きにすると美味しいそうです。内臓が比較的大きいため、その内容物の悪臭が身に移ることがあるので注意が必要です。また、寄生虫がいるリスクがあるため生食は避けましょう。

ねいの里 行事報告

● (4/21、6/9) ちびっ子自然体験



4/21 ヒキガエルの卵囊見学

20



4/21は、サンショウウオの託児所で、アズマヒキガエルの卵囊を見ました。貴重な体験に親の方が大はしゃぎ！水辺では、親子でビンゴゲームを楽しみました。

6/9は、午前と午後の2回実施。今回のゲームは「足の数ビンゴ」と称して、生き物の足数とその名前を題材にしました。簡単だったのか、全マス完成のちびっ子が続出しました。景品をもらって大喜び。楽しい会になったかな。

「なんかいるぞッ！」



● (4/14) ネイチャービンゴで里山散歩 (共催；自然塾の会)

春の息吹を感じながら、自然を活用したビンゴゲームと山菜の採取、試食を行いました！

ビンゴゲームは、葉っぱの形や生き物を見つけるとマスが埋まっていき、参加者の皆さんは協力しながら楽しそうでした！

山菜の採取と試食は、自分達の取った植物を食べられて皆さん大満足！とても充実した行事でした！



● (5/12) バードウォッチング (共催；富山県、日鳥連)



5月の「愛鳥週間」に合わせて、毎年「野鳥の園」で行っています！

現在、古洞ダムへの道は車で行けないため、婦中ふるさと自然公園からスタート！

餌をくわえたホオジロを見たり、ウグイスの鳴き声を聞いたり、充実した内容でした！



● (6/22) ヘイケボタル鑑賞会



ホタルの話聞く



恒例の企画で、約100名の参加で実施。

オカリナの演奏で集合。最初はホタルの話。これで気分は上々！でも、生憎の雨模様で水辺に行けず、参加者はがっかりでした。

ねいの里は、そんなことではくじけません。こんなこともあろうかと実物を用意し、館内を暗くしてホタルの光るところを実際に見てもらいました。中には「本当に光ってる～！」「初めて見た！！」などの声が上がっていました。

最後は、夜の展示館内の生き物も見てもらって、解散しました。

今回は、雨のため幻想的なホタルの飛翔する様子を見てもらうことはできませんでしたが、参加者はそれぞれに楽しい一時を過ごされていました。

今年は、オオオバホタルという光らないホタルも展示しました。

← 受付の様子

ねいの里 これからの行事案内

- 7月19日(金), 20日(土) 光に集まる虫を観察しよう (自然塾枠あり)
 時間: 19:00~21:00 場所: ねいの里
 対象者: 小中学生 7/5より募集開始(詳細はHPで)
 定員: 各回30名(保護者含む) 参加費: 無料
 光に集まる虫の習性を利用して、カブトムシやクワガタムシなどの昆虫があつまるのを観察します。どんな昆虫が集まるかな?
- 8月7日(水) ちびっ子自然体験③ (自然塾枠あり)
 時間: 10:00~12:00 場所: ねいの里
 対象者: 未就学児、小学校低学年
 定員: 30名(保護者含む) 参加費: 無料
 カブトムシやクワガタなど森の生き物を観察します。
- 8月10日(土) トンボの調査と標本作り
 時間: 9:30~12:00 場所: ねいの里
 対象者: 小中学生
 定員: 20名(保護者含む) 参加費: 無料
 トンボを捕まえて、それを使って標本を作ります。
- 9月7日(土) 星空観察と虫の鳴き声を聞こう (自然塾枠あり)
 時間: 18:30~20:30 場所: ねいの里
 対象者: 一般、親子
 定員: 50組(100名程度) 参加費: 無料
 大学の天文部員から天文(夜空)の話聞きます。その後、星空を観察しながら虫の声を聴きます。
- 10月6日(日) キノコ狩りとキノコ鍋を楽しむ (共催; 自然塾) (自然塾枠あり)
 時間: 9:30~12:00 場所: ねいの里
 対象者: 一般、親子
 定員: 100名 参加費: キノコ鍋 200円/食
 園内でキノコを採集し、講師の鑑定を受けられます。キノコ鍋もあるよ!



******* <行事への参加希望の方は、ねいの里までお申し込み下さい。> *******
受付期間は、基本的に行事実施日の1ヵ月前から1週間です。

自然塾の会からのお知らせ

メール配信しますのでその都度確認してください。

■ 特別展示

06/22~07/08	富山県自然保護協会環境写真展	08/24~09/25	秋の虫展
07/16~08/21	カブト・クワガタ展	09/14~10/28	ねいの里キノコ写真展
08/01~08/22	愛鳥ポスター展		

○ 「ねいの里自然塾の会」会員のナチュラルリスト駐車場利用について

自然塾会員の方は、駐車許可証が必要となります。利用時は車内の見えるところにおいてください。



発行 富山県自然博物園ねいの里 館長 荒屋 健治
 〒939-2632 富山県富山市婦中町吉住1-1
 Tel 076-469-5252 / メールアドレス shizen@toyamap.or.jp
 ホームページ <http://www.toyamap.or.jp/shizen/>



ホウホウクイズの解答: 富山銀行じゃ。新人研修の一環で自然保護に関わるボランティア活動をしているそうじゃ。今年も5/25に水辺の生態園で頑張ってくれたぞ。